

平成 25 年度第 2 回「埴町地域公共交通活性化協議会」議事録

日時 平成 25 年 12 月 25 日（水）午後 1 時 15 分

場所 埴町商工会館 2F 大会議室

出席 19 名（別紙名簿のとおり）

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

要綱に基づき、園部会長が議長となり議事を進めていった。

（1）平成 25 年度市町村生活交通バス運行実績について

P2、3 の資料をもとに事務局が説明し、質問等なく報告された。

（2）消費税率引き上げに伴うバス運賃の転嫁について

平成 26 年 4 月から消費税率が引き上げられることに伴い、バス運賃の上限についてどのように対応していくか、事務局より説明した。

質疑

白石委員）消費税率が上がることでどのような影響があるのか。

園部会長）上限 800 円を超えない部分については消費税率を引き上げた分の値上げになり、800 円を超える部分は上限運賃を適用する。例えば矢塚線の終点は 990 円であるが上限は 800 円であるため、その差額分を町が負担する。

以上が質疑であり、町として上限運賃 800 円のままで対応していくことで了承を得た。

（3）田代・那倉地区生活交通実証運行について

①田代・那倉地区生活交通実証運行の実施結果について

事務局より田代・那倉地区生活交通実証運行の実施結果について、アンケートの集計、乗車数のデータ等使い説明をした。

②今後の方向性について

今後の方向性として、事務局案として現在運行している呼石線のルートを変更して運行し、田代地区については、今後ワーキンググループで検討していくことを提案した。

質疑

影山委員) 実証運行に使ったバスは大きいバスか、小さいバスか。小さいバスであればもう少し安くなったと思う。

事務局) 福島交通の中で使えるバスを使った。通常走っているバスよりも一回り小さく、40人乗りではあるが中の座席は少ないため比較的小さい方である。

藤田一男委員) アンケートの結果では利用人数が9人であり厳しい結果になったが、そのことについて行政としてはどう考えているか。

事務局) 町では、今回の実験で比較的用户の多かった鳩ノ宮を通るように呼石線のルートを変更し、実証運行路線については本運行を実施しないということも一つの案であるので、委員の皆様の意見をお聞きしたい。

白石委員) 実施した地区の人口はどのくらいか。

事務局) 人口について細かくは調べていないので分からないが、世帯数は156世帯であり、1世帯に3人ぐらいで考えてもらえればと思う。

勝田委員) 月、水、金や火、木など、週2～3回の運行はできないか。

事務局) 7月の会議で、収支率40パーセントを目標にこの実証運行を開始することになったが、結果は収支率9.13パーセントと低い数値になってしまったため、本運行は難しいと思う。

勝田委員) 停留所沿線の住民は乗れるが、そうではない住民は乗ることが難しい。

白石委員) 路線の運行を止めていいのか。1人でも乗る人がいるのなら、運行を続けるべきだ。

事務局) 路線の廃止はあくまで案のひとつであり、さまざまな案の中からどれが一番効果的な方法かを委員の皆様にお聞きするのがこの協議会の目的である。停留所から遠い住民のことも考慮し、事務局として田代地区についてはデマンドタクシーの運行を検討するのが一番効率の良い方法だと考えている。

白石委員) デマンドタクシーとはどういうものか。

兼平委員) デマンドタクシーとは予約型のタクシーのことで、利用者が利用したい時間に希望の目的地まで運行するもので、乗合型になるので他に利用者がいれば、そ

それぞれの目的地に向かうようになる。

吉岡委員) デマンドタクシーの他にも、グループタクシーというものがある。これは、山口市で行われているもので、あらかじめ地域で乗り合うグループを作り、持っているタクシー券を使って乗車するシステムになっている。乗車料金からタクシー券の金額を差し引いた分を利用者で負担するので、乗り合う人数が多いほどお得になるという特徴がある。

藤田委員) この協議会での意見、自治体での情報を集めてほしい。建設的に意見を出していき、新たなものを取り入れるべきである。

白石委員) お金をかけないで、効果的に利用できるものを考えてほしい。

事務局) 委員の皆様からいただいた貴重なご意見を含めて今後、ワーキンググループを開催し、どのような方法が一番良いのかを考えていきたいと思う。

以上で質疑は終了し、今後の方向性については、事務局案の今後ワーキンググループを開催し、検討していくことで決まった。

(4) その他

天沼まち振興課長より、常豊地区の実証実験を来年度実施する考えが出された。実証運行後の田代地区をどうするかということも含めて今後検討していく。

4. その他

5. 閉会

塙町地域公共交通活性化協議会委員名簿

【任期：平成26年3月31日まで】

No.	団 体 名	所 属 職 名	氏 名	区 分	出 欠	備 考
1	塙町	副町長	そのべ ひでつぐ 園部 秀次	町長が指名するもの	○	新
2	福島交通株式会社	白河総括営業所長	すずき はじめ 鈴木 元	公共交通事業者	○	
3	有限会社塙タクシー	代表取締役	すずき たけし 鈴木 岳	公共交通事業者	○	
4	有限会社ファミリータクシー	代表取締役	ひるた たかし 蛭田 孝	公共交通事業者	代理	
5	国土交通省東北地方整備局 郡山国道事務所	調査課 課長	さとう こうき 佐藤 幸喜	道路管理者	代理	吉家政俊
6	福島県棚倉土木事務所	所長	すずき よしひろ 鈴木 義弘	道路管理者	○	
7	棚倉警察署	交通係長	やすだ こうじ 安田 幸二	棚倉警察署長又は その指名する者	○	
8	塙町区長連合会	会長	しらishi たくみ 白石 卓三	地域公共交通の利用者	○	
9	塙町PTA連合協議会	副会長	はら むねみつ 原 宗光	地域公共交通の利用者	×	
10	塙町老人クラブ連合会	会長	ほし てるあき 星 輝明	地域公共交通の利用者	○	
11	塙町青少年育成町民会議 (塙地区推進協議会)	会長	さ さ き はやと 佐々木 勇人	地域公共交通の利用者	×	
12	塙町青少年育成町民会議 (常豊地区推進協議会)	会長	ふじた たかお 藤田 孝夫	地域公共交通の利用者	○	
13	塙町青少年育成町民会議 (笹原地区推進協議会)	会長	ふじた かずお 藤田 一男	地域公共交通の利用者	○	
14	塙町婦人会	会長	えんどう せいこ 遠藤 勢子	地域公共交通の利用者	○	
15	塙町婦人会	前会長	は が こ 芳賀 とし子	地域公共交通の利用者	○	
16	ふくしま自治研修センター	総括支援アドバイザー	よしおか まさひこ 吉岡 正彦	学識経験者	○	
17	国土交通省東北運輸局福島運輸支局	首席運輸企画専門官	かねひら さとし 兼平 悟	町長が必要と認める者	○	
18	福島県県南地方振興局	県民環境部 副部長兼県民生活課長	かげやま つよし 影山 剛	町長が必要と認める者	○	
19	塙町商工会	事務局員	はが ひろみ 芳賀 宏美	町長が必要と認める者	○	
20	はなわ共栄会	代表	おおたけ たかよし 大竹 孝和	町長が必要と認める者	×	
21	はなわよんく協同組合	会長	かつた のぶひろ 勝田 宣宏	町長が必要と認める者	○	
22	塙町社会福祉協議会	事務局長	おおこし ただゆき 大越 忠幸	町長が必要と認める者	○	
23	塙厚生病院	事務長	かとう ひろし 加藤 洋志	町長が必要と認める者	×	
24	福島交通労働組合白河支部	棚倉分会長	うぶかた けんいち 生方 賢一	町長が必要と認める者	×	